

ほけんだより2月

貝塚市立葛城小学校
2013. 2月

寒い日が続いているせいか、かぜやインフルエンザにかかる人が多くなってきて、海手の学校や幼稚園では学級閉鎖もでています。しかし、葛城の子どもたちはとても元気!! 外で、思いっきり遊んでいる子がとても多いです。



相棒

3年生の人たちが、「いのちの学習」の中で、「つなぐことば（ふわふわことば）」と「断ち切ることば（ちくちくことば）」について勉強をしました。そして、心があたたかくなる「つなぐことば」がいっぱい集まりました。

その中に「相棒」ということばを見つけました。「相棒」ということばは、テレビドラマのタイトルで有名ですが、もともとは、太くて長いかつぎ棒を前と後ろに分かれて、二人が一緒に荷物をかついだお互いのことを呼んでいたようです。それが今は一致協力してチームを組む仲間のことを言うようになってきています。

「相棒」という言葉には、お互いを信頼して、たすけあっていこうというあたたかい友情が感じられます。

そういえば、みなさんが良く知っている「ワンピース」というマンガの中にルフィという主人公が敵キャラにこんなことばをいう場面があります。

アーロン「バカで非力でおろかであるのが人間だ。海にしないで一人ではあがってこれねえようなやつに何ができる」

ルフィー「何もできないから、助けてもらえるんだ。おれは剣術もつかえない。航海術もつかえない。おれは、助けてもらえないと生きていけない自信がある」

この話を知っている人は、もうわかっていると思いますが、敵キャラにこんな弱みを言っているルフィーですが、実はルフィーも仲間には命がけで助けます。ルフィーたちはお互いに大きな信頼をよせあって「一人では成し遂げられなくても仲間とならできる!!」という強い信頼があるのですね。

このルフィーの仲間たちこそ、お互いが「相棒」なのではないでしょうか。

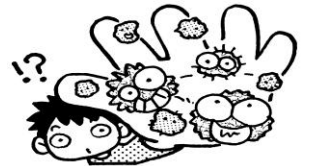
「相棒」っていいですね。

葛城にも今以上たくさん「相棒」ができるといいなあ。



手、きれいかな?

さむい季節になると、どうしても手をあらうことが、おっくうになってきます。



以前、手をあらわないでパンをさわった実験を保健室前にはってあったのを覚えていませんか?

かぜやインフルエンザを予防するのにも「手洗い」は大切! しっかりと手をあらうようにしましょう。



「登校許可意見書」は学校のホームページからでも取り出せます。

インフルエンザや他の感染症が治ってから、学校に登校する際に必要な「登校許可意見書」は、1学期に配布した用紙を使っていただいてもいいですし、葛城小学校のホームページからも配布しています。

また、以前にもお知らせしましたように、インフルエンザについては、出席停止期間が「発症してから5日、熱が下がってから2日を過ぎること」に変更されています。

ぴかぴかのトイレ

これは、1階の女子トイレ! とてもきれいにそうじができていて、スリッパもきちんと並べられていました。うれしいなあ

